

しごと

企業からの依頼だつて
こなしています。

検査キットの個別包装を受注

社会福祉法人調布市社会福祉協議会「希望の家深大寺」では、重い障がい区分に該当する11名の利用者が、日々の生活訓練をしながら仕事もしています。この日は、株式会社マリス分析センター（調布市西調布）から依頼された『検便キット』の個別包装作業を行っていました。同社は衛生検査や臨床検査、メンタルヘルスチェックなどを行う会社。年間10万本もの袋詰め作業を希望の家に依頼しています。

それを、数を数えるのが得意な人、袋詰めするのが得意な人と、仕事を分担しながら行っています。工夫をしながら生産効率を上げていきます。逆に失敗したら、スタッフといっしょに謝りに行くこともあります。

しかし、依頼主の黒崎孝之社長は、「10年以上の付き合いになりますが、二つの仕事が入り込んでほぼミスがありません。あつたとしても直接謝罪に来ら

れて『また仕事をください』と言われるます（笑）。仕事をしていても気持ちのいい関係です』と温かい言葉をかけてくれました。

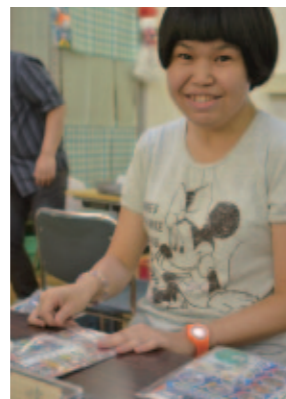
希望の家 深大寺ではほかにも、古紙の回収、社協の会報「ふくしの窓」の配布、ネジ作業などの仕事をこなしています。

小学館の付録の封入もやっています

NPO法人「わかばの会」では、少年漫画誌「コロコロコミック」をはじめ、小学館の子ども向け月刊誌の付録（人気アニメやゲームの限定カード・ポスターなど）の封入作業を請け負っています。この日は、市内3カ所の福祉作業所と分担して合計約2万4000セットの封入作業を行っていました。全国発行部数の約10分の1に当たるそうです。

枚数や向きを間違えないように気をつけて作業をします。作業所のスタッフもカード1枚1枚に輪ゴムをつけるなど丁寧なサポート。毎回違う付録が来るため、飽きずに集中して作業ができます。

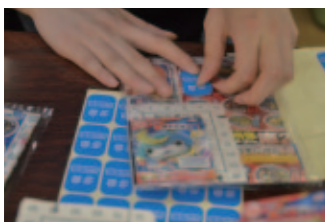
自分たちが封入した雑誌が出ると、記念に購入する利用者もいます。社会とのつながりを感じるのが「やりがい」を生むきっかけになっています。



「毎回楽しい」と30代のKさん



「わかばの会」では封入作業以外に清掃作業や書類交換便などのしごとをしています



小学館のコロコロコミックの付録

コネクタの組み立てもお任せ！

障がいのある子の親が立ち上がり、半世紀近く活動しているNPO法人「調布心身障害児者親の会」。同会が運営する「びいす」は、市内3つの作業所が合併し、2011年に誕生しました。

びいすでは、電子部品を取り扱う株式会社テック計装（調布市多摩川）から委託を受けて、テレビやビデオカメラに使用されるコネクタの組み立てを開発当初から行っています。同作業所の前身、野いちご作業所時代から通算すると、20年の付き合いになるといえます。

「コネクタは主力商品なので、長年、本当に支えられています」とテック計装の工場長さん。細かい作業のため気力と根気が必要ですが、長時間の持続は至難の業。そこで時には雑談や笑い話も交えながら、リラックスした雰囲気で作業を進めているそうです。



類似部品が多いため、混ざり合わないように細心の注意を払って作業をしています



取材記念に1枚。「びいす」では、お菓子製造や食品製造、手工芸などのしごとをしています

表彰状

障がい者を支えてくださる「わくわく」なお店に、感謝の思いを込めて表彰状をお贈りしています。

『髪 シモムラ』下村謹一さまに感謝！

下村さんは柴崎の深大寺通り商店会で45年間、理容室を営まれていました。約10年前から「調布市デイセンター まなびや」の利用者さんのヘアカットをしてきています。少しぐらい動いても「無理に止めなくていいよ」とやさしく接してくれるので、リラックスしてお願いできるのが魅力です。2013年に店を閉めてからは、近くの「ヘアサロン エレガンス」で週4回なじみのお客さまの散髪をされていて、まなびやの利用者さんも変わらずヘアカットしてもらっています。下村さん、これからもよろしくお祈りします。



ヘアサロン エレガンス
調布市柴崎1-65-1 ☎042-487-9329